

	学習内容・学習活動	教師の手立て・評価
1次	<p>1 「よい対話」をするための学習であることを知る。</p> <p>2 効果的なメモの取り方について考える。(スピーチ1)</p> <p>3 的確にメモを取る練習をする。(スピーチ2)(スピーチ3)</p> <div data-bbox="304 521 783 696" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(メモを取るときのポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉で書く(簡潔性) ・順番が分かるように書く(順次性) ・速く書く(速記性) </div> <p>4 誤解を招くような表現を見抜く。</p> <div data-bbox="304 768 783 909" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(誤解を招くような言い回し)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんな」「決して」「絶対」 ・「残り2台」「4分の近さ」など </div> <p>5 相手の主張に対する自分の意見をもとに、スピーチのための構想メモの作成をし、友人とお互いにスピーチを聞き合い評価し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して「よい対話をするための手立て」を体験し、それを日常生活での対話に生かすように意識させる。 ・自分のメモとワークシートのメモ例を比べ、効果的なメモについて考えさせる。 ・友人と2人組を作り、話を的確に聞くトレーニングをさせる。 ・話し手がどのように話を展開させているかをまとめさせる。 ・キーワードをとらえるように意識させる。 ・自己評価表で学習の振り返りをさせる。 【関心・意欲・態度：観察、ワークシート】 ・ワークシートの例文から、誤解や曲解を招くような表現を、日常生活の中から意識させることで、誤解の要因となる表現(誇張表現や数字の魔術など)の存在を理解させる。 ・よい話し手へと意識を高めるために、一つの主張に納得・反論の姿勢を明確にさせる。 ・説得力のある論理的展開のために双括法・三段構成を提示した。 ・客観的な評価を自覚させることで、常に相手を意識させ、それが更なる工夫・改善につながることを期待したい。 ・自己評価表で学習の振り返りをさせる。 【話す・聞く：観察、ワークシート】
2次	<p>6 筋道を立てて物事を伝える時のポイントを理解する。</p> <div data-bbox="304 1361 783 1503" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(B子さんの優れている点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体 部分の順で説明している ・数字などを用いて具体的である </div> <p>7 「私の願い」という題で、スピーチの構想図を立てる。</p> <p>8 面接の時の注意点を考え、話し方を工夫する。</p> <div data-bbox="304 1675 783 1995" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(数組の対話をビデオ撮影し、クラス全員で感想・意見を出し合った。)すると以下のような3つの見方があることに気づき、多面的に検討することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「面接を受ける側の見方」 「面接をする側の見方」 「第3者としての見方」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで論理的に話すには、順次性を意識して話すことの必要性を把握させたい。 ・組み立てを考えて説得力のある話をするためのポイントをつかませたい。 ・双括法、ナンバリングが論理的に話すうえで効果的であることを意識させたい。 ・面接では、独りよがりな話はその場の「目的」や「方向性」にそぐわないことを理解させたい。 ・面接では聞かれたことの「目的」「意図」を正確にとらえ、それに応じた自己PRをすることが大切であることを意識させたい。 ・自己PRは抽象的にせず、エピソードを入れると説得力が増すことを理解させる。 ・友人と2人組で面接の練習をすることによって、自分がいかに有益な人物であるかを表現を工夫してアピールさせたい。 ・自己評価表で学習の振り返りをさせる。 【関心・意欲・態度：観察、ワークシート】 【知識・理解・技能：相互評価、観察】

3次	<p>9 「私の学校改善案」という題でスピーチの構想を立て、説得力のある原稿に仕上げる。 (ワークシート)</p> <p>10 4人組で「3分間対話タイム」を実施し、自分の主張をお互いに紹介・評価し合う。</p> <p>11 クラスメイトの評価を参考に主張を練り直し、再度4人組で「3分間対話タイム」を実施する。</p> <p>12 「私の学校改善案」の原稿を仕上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の主張に説得力を持たせるために、ラベリング・ナンバリングを用いて、構想を立てさせる。 ・実際に相手に話すことで、話の意図が相手に伝わったかを検証させる。 ・相手の立場や考え方を尊重する意識を持つように心がけさせたい。 ・自分の構想の不備に気づかせ、説得力のある表現を工夫させる。 ・<u>自己評価表</u>で学習の振り返りをさせる。 【話す・聞く : ワークシート、自己評価表】
----	---	--